



☆☆☆ 学びの羅針盤 ☆☆☆



Learning Compass

きたえ ふれあう 富沢っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ
保護者・地域にもとに帰します！

◇教育目標「夢をもち 未来を拓く子ども」

◇重点目標「自分と友達と」～深く考えよりよく表現し、仲間と共に学び合う子どもの育成～

安心・安全な学校を絶えず目指して

校長 大野 昌広

◎ナレーション：2018年9月6日。北海道胆振東部地震。あの時、みんな思ったはず。

◎男性：懐中電灯用意しなくちゃ！

◎女性：ラジオ用意しなくちゃ。

◎男性：水も買わなくちゃ。

◎（街の人の声が重なっていく）：ストーブも用意しなくちゃ。ライト買わなくちゃ。食料も備えなくちゃ。

◎ナレーション：あの、「やらなくちゃ！」は、今、どうなっていますか。

◎ナレーション：災害は忘れたころにやってくるから。やらなくちゃ！は、ちゃんと

◎全員：やらなくちゃ！



【ACジャパンのラジオCMより一部抜粋】

早いもので約3年半が過ぎました。2018年9月、北海道胆振東部地震発生。そして、直後に起きたブラックアウト。北海道民は電気のない不自由な生活を余儀なくされました。学校もしばらくの間、臨時休業になりました。食料品や地震関連商品がコンビニ・スーパーの棚から瞬く間に消えました。このCMの中に「天災（災害）は忘れたころにやってくる」というセリフが登場します。これは夏目漱石の一番弟子であり、小説「吾輩は猫である」の水島寒月のモデルでもある物理学者・防災学者の寺田寅彦の言葉と言われています。寺田寅彦が生きた昭和初期は函館大火や大雨、台風によって多くの人命が失われました。災害はまれにしか起こらないので、人間が忘れたころに次の災害がおきるという意味から作られた言葉と言われています。

□学校の危機管理が問われた2つの事件・災害

学校での危機対応を考えたとき、私は忘れられない2つの事件と災害を思い出します。一つは、学校の危機管理体制の見直し、強化につながった2001年6月8日の大阪教育大学附属池田小学校の事件です。これは、凶器を持った男が同校に侵入し、次々と児童を襲撃し、児童8名を殺害、児童13名・教諭2名が傷害を負ったという痛ましい事件です。この事件をきっかけに、部外者の学校施設内への立ち入りを厳しく規制するなど警備体制を強化する方策がとられました。また、防犯ブザーを携帯する児童も増加したほか、防犯訓練や教職員による心肺蘇生の訓練を学ぶきっかけとなりました。もう一つは、学校管理下での子供が犠牲になった事件・事故としては戦後最悪となった石巻市立大川小学校の惨事です。2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴う津波が大川小学校を襲い、校庭にいた児童74名、教職員10名、学校に避難してきた地域住民や保護者も死亡しました。これを機に全国の自治体や学校では、ハザードマップや危機管理マニュアルの作成・見直しを行うことになりました。

□「危機管理マニュアル」の見直し～富沢小学校の場合

学校における危機管理は多岐にわたります。地震、火災、台風、河川氾濫、豪雨、大雪、熱中症、食物アレルギー、交通事故、インターネット犯罪、不審者侵入、弾道ミサイル発射……。平成3年6月に「学校の『危機管理マニュアル』等の評価・見直しガイドライン」が文部科学省から出されました。本校では6月完成を目指し、実効性のある使いやすい「富沢小学校 危機管理マニュアル」を作成しているところです。また、富沢地区は、過去、度重なる集中豪雨災害によって甚大な被害を受けてきました。このため、旭川市地域防災計画によれば、本校は、災害等が発生した際の「避難所」に指定されています。危機管理マニュアルには、本校の「避難所」としての役割も触れる予定です。

□子供たちも、教職員も、「もしも」に備えて

5月10日、本校は旭川市消防署の署員を講師に火災を想定した避難訓練を実施しました。自分の命は自分で守ることを基本に「お・は・し・も」等の事前指導により子どもたちは適切に「避難行動」を行い、署員から高い評価をいただきました。子どもたちの安心・安全な学校の実現こそが、保護者や地域の皆さんからの期待と信頼に応えることにつながる拠り所と考えます。今、日本のすべての学校は新型コロナウイルス感染症の対応に追われています。本校も同様です。しかし、一方で火災や台風・地震等の災害、交通安全や不審者対応等の危機は常に目の前に迫っているという緊張感を持続していなければならないと思います。「天災（災害）は忘れた頃にやってくる」という言葉を胸に刻み、子どもたちの生命を守る安心・安全な学校を目指していきます。

春の野山

生活科 総合的な学習の時間

富沢小学校では、「ふるさと富沢」の自然環境を「季節の野山」として学んでいます。

5月12日(木)、「春の野山」を実施しました。お弁当をもってフィールドワークです。

1、2年生は本校職員の城を講師に、身近な自然とのかかわりを学びました。見慣れたはずの自然から、たくさんの「生命」を感じることができました。

3、4年生は元旭川野鳥の会会長の田村さんを講師に、森の鳥について学びました。17種類の野鳥と出会うことができました。

5、6年生は旭川市公園緑地協会の野々山さんを講師に学校のすぐ近くを流れる伊野川について学びました。科学的に自然と関わる態度を身に付けることができました。

子供たちの「知りたい」「何だろう」という興味・関心の気持ちを大切に環境や人材を生かした学習をつづけていきます。



避難訓練実施

去年は、コロナ禍のため、校内で行った避難訓練でしたが、今年は消防署のご協力を得ながら、行うことができました。

緊張感のある迅速な避難訓練の後は、消防車見学です。

消防署の職員の方が、探究心の強い富沢っ子の質問に丁寧に答えてくださいました。



運動会準備

5月28日(土)予定の運動会の練習も進めています。

例年、頭を悩ましていた、グラウンド整備もPTAの皆さんのご協力やカムイの杜公園管理事務所の皆様のご協力で整えることができました。連日の作業ありがとうございました。



6月の予定

- | | |
|--------|--------|
| 1日(水) | 歯科検診 |
| 2日(木) | 全校集会 |
| 6日(月) | クラブ |
| 7日(火) | 委員会 |
| 15日(水) | ふれあい給食 |
| 24日(金) | マラソン大会 |
| | 諸費納入日 |
| 27日(月) | 教育相談 |
| ～ | |
| 30日(木) | 遠足 |
| 30日(木) | 修学旅行 |
| ～1日(金) | |



児童生徒のための相談窓口「おなやみポスト」

旭川市教育委員会では、お子さんがWebページの入力フォームに、氏名、学校名、相談内容等を入力することにより、教育委員会を経由し、学校にメールを転送の上、相談を行うことができるページを開設しました。ご家庭のスマートフォンなどからの入力することができ、個人情報守られます。

詳しくは、お子さんにプリントを配布しました。ご確認ください

